

# ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 133 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2022 年 11 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

## 初秋の強い陽射しの下で

### 10 月の定例作業日 (10/25)、

当日は明け方まで雨が降り、作業開始時は雨が上がっていたものの冬の到来を思わせるような冷え込んだ日でした。参加者は 16 名。林内班 13 名。ゴミ拾い班 3 名で作業実施。

林内班の作業は、前回の剪定枝や刈り払い玉切りの片付け作業から始まり、第二駐車場隣接域まで順調に進みました。

ゴミ拾い班は、第二駐車場→桜木神社通り→霊園通り→湿地→新園路→中央通り。コース記号は、K-N-第二 P-A-g-b-b' - W-B-C-U-C-ロ-i-j-L-K。

特記事項：①桜木神社通りは、刈り込みが行われており、ゴミが散在していました。

②霊園通りは、数歩中に入ると結構ゴミがありました。ここで、相当な量になったので、フルコースを断念。③「湿地」は湿り気のみでした。

なお深澤は、分別後に、東西通りと新園路を巡回しました。



[10/25 集合写真]

まずは、水島さんからの報告です。『お気に入りの湿地、今日の写真の一枚です。真ん中にポツンと桜の木が立っていて、生い茂っている雑草と、取り囲んでいる木々の風景がカルチャーパークらしい雰囲気醸し出していると感じました。』



桜の木も少し色ついています。久しぶりに来ましたが、このところの寒さからか周りの木々が色ついてきています。



そういえば、先日ウオーキングした航空公園の銀杏も少しずつ黄葉してきていて、銀杏を拾っている人も見かけました。まさに「Autumn has come !」です。

ゴミ拾い班は 3 人、第二駐車場からスタートする逆回りです。桜木神社の付近も道路に沿って草が刈り取られているせいか

大きなゴミは見つかりませんでした。それでも、中には空き缶やペットボトルにたばこの吸い殻が詰め込んであり重く、ガラクタをいれると一つの袋もかなりの重量になりました。

私は自宅の庭作業で腰を痛めており（針を 3 度して治療）なおさら重くて、それを田中さんが軽いゴミ袋と交換してくれて、その優しい心使いが嬉しく感じられました。

霊園通りは、中に入ると結構ゴミがあり、それも集めると分別にかなり手間取り、最終的には 6 袋になりました。

来月は紅葉もかなり進み葉も落ち始めて景色はまた変わるだろうと想像しながらカルチャーパークを後にしました。』

(注：文中の写真は水島さんの撮影したものです)

次いで、三浦さんからの報告です。『最低気温 9 度、最高気温 14 度曇り空。北の風で一寸肌寒さを感じずこの日、集まったのは 16 人。待たれた企業から参加の若い世代 5 人の参加は、累積 47 人目となる。』

ゴミ収集班 3 人、林内班 13 人と分かれて行動開始。作業地は前回に続き第二駐車場手前だが、これまで処理しきれなかった枝葉、大小丸太類が林内に未

だ大量に残っており、この運び出しが最優先だ。

毎回若い世代が快く引き受けてくれるので大助かり、高齢の我々にとって一番疲労が伴う作業だけに有り難く今後も良好な関係を維持していきたいと思っている。

この日は刈り払い機運転 3 人、藪の新規伐採 2 人、残る 8 人が伐採枝葉類の運び出しだ。運搬のためリヤカーを持ち込み 3 人がかりで枝葉の運び出し、以外は玉切りの丸太や拾い集めた幹類は抱えて運び、人海戦術しながら、一生懸命の作業となった。また、チェーンソーで大口径の玉切りや、集積された枝類の寸法を揃える作業まででこの日の作業は終わった。林内を見渡せば、でこぼこの林床は「素晴らしい」景色に変わり、集積場所に山のように積まれた量をみて如何に凄い成果だったかを一同で共有出来た作業日となった。

唯一残念だったのは多量の不法投棄（※1）だ。

（※1）不法投棄物については、同日深澤代表から公園課へ連絡、私からは公園課の緑町の事務所責任者 I 氏に連絡したところ、翌日のカルチャーパーク休日の作業の際に一緒に片付けてくれる旨快く回答を戴いた。

翌日午後、お礼を兼ねて現地確認に行ったところ既に枝葉類や粗大ゴミの全てが片付けられていたことを加え報告としたい』



[10/25 林内作業-1]



[10/25 林内作業-2]



[林内作業-3]



[10/25 林内の大型ゴミ]



[10/25 ゴミ集約]

~~~~~

**10 月の第二作業日 (10/11)、**朝方は少し涼しくて、秋らしく感じましたが、日が昇るにつれて作業と共に汗ばむ陽気となりました。

この日の参加者は 5 名。林内作業のみを実施。なお、深澤は都合により欠席しました。



[10/11 集合写真]

三浦さんからの報告です。

『このほか日射しが強く暑いこの日、集まったのは 5 人。最も頼りがいのある企業の若い世代の人達や常連さんの参加がないため最少人数となった。作業場所は、前回同様第二駐車場に向かう右手一帯だが、今日は人数相応で粛々とやることにした。作業前の注意点は、雨が続き樹自体水分含みで重くなっており、頭上の枯れ枝の落下に注意しながら作業をすること。』

刈り払い機 3 人、2 人がブッシュ灌木の伐採の構成とし、今回は伐採した枝葉や落下枝などは運びださず、一旦作業地の周辺にまとめておき、次回以降に運び出すことにした。

少ない人数でも刈り払い機 3 台の威力は大きく集めるだけでも大変だが、お互い無理しないでやろう、それでもどんどん景色が変わるので気持ちが良い。

悩ましいのは、作業が進むにつれ運搬距離がどんどん伸びること。その往復だけでもかなりの疲労が伴うことだ。人手が多ければ多いほど負担は軽く成果は大きいが無理が無い。「たか

が人力、されど人力」である。また、作業エリアが拡大していくと、時には予想外の驚きに遭うことがある。

それは不法投棄物の出現だ。今回はドラム缶二個、ベット大のマットレス、洋式便器の水タンク、一輪車2台、冷蔵庫の残骸、給湯器、浴槽、ガスレンジ、雨樋の残骸多数、プラスチックボトル、ガラス瓶、コンクリートガラなど大量多彩。藪に隠れて見えなかったが、伐採を進めていくと次々と出現するのである。このような不法投棄物がどうしてここへ運ばれたのか分からないが、余りの酷さに呆れるばかりだ。隠す、隠したい人間の深層心理が見え隠れしてならない。その対策の一助となるかどうか保証の限りではないが、我々の作業によって林全体が明るく開放的になる事で、こうした不心得な行為の抑制に多少なりとも役立ってくれればと思った。

「余談ながら耳寄りな話を」  
二つばかり

所沢市の緑地保全事業とナラ枯れの原因「カシノナガキクイムシ」の被害について。

10月中旬、北秋津、上安松地区の住民から「かみのやま」の愛称で親しまれているその一部、柳瀬川沿いの「淵の森」へ行ってきた。壁に貼られた広報誌の内容をお知らせする。

一つは、所沢市の緑地保全事業について、目下、北秋津・上安松地区で大規模な区画整理事

業が進行中だが、その一部3.5畝を「トトロが生まれた場所を守る」とし、所沢市が都市緑化公園として保全することになった（市が広報済み）。その取得資金26億円は市費と映画で使われた背景画の複製

（1set25,000円）を購入して貰う「クラウドファンディング」の仕組みを使い賄うことが記されていた。

もう一つは、ナラ枯れに取り組んだ淵の森の会（会長宮崎駿）の活動内容。ナラ枯れを引き起こすのは「ナラ菌」と呼ばれるカビ、菌が樹木に入ると、感染した部分の細胞が死に、水分などの通道の導管が詰まり水を吸い上げられず、葉がしおれ枯死してしまう。ナラ菌を媒介するのは体長約5mmのカシノナガキクイムシで毎年6から8月樹木に穴を開け繁殖。翌夏頃次世代の成虫が新たな樹木を求め飛び出しナラ枯れを拡大させ、特に直径30cm以上の老木の被害が大きいこと。被害は1980年代には日本海側だったのが2019年代になって39都道府県で確認された。専門家によると発生の起因は、1950年以降石油やガスが燃料として普及したこと、「人が里山の樹木を切らなくなったのと森が高齢化し大木化が進んだ」ことだと記されていた。我がカルチャーパークでも約80本、市全体で300本の被害の調査結果があったが由々しき事態が進んでいることを改めて感じさせられた。

対策は伐採かあるいは伐採し切り株から新しい芽を出させ若返りさせること、薬液注入、ラップで包み虫の侵入を防ぐ位しか対策がないことから苦心の程が知れよう。

因みに宮崎駿さんが関わる秋津駅近くの「淵の森」では2022年5月から9月にかけてカシノナガキクイムシの捕獲と調査を行った。37本のクヌギ、コナラに120ヶのトラップを掛けたところ期間中総計45,507匹を捕獲（最大6月20日15,288匹）、また穴に薬剤を注入したが効なく、一本は枯れてしまった。このうち一本は6,030匹捕獲したにも拘わらず、樹液を出すのと殆ど同時に葉が赤くなって枯れてしまった。』



[10/11 林内作業]



[10/11 林内の大型ごみ]

## 11月の作業予定

定例作業日:11月29日(火)

第二作業日:11月10日(木)

作業時間:9:30~11:30

\* 作業内容:ごみ拾い・林内作業

\* 持ち物:手袋、タオル、雨具、  
飲み物、念のため、保険証・  
お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで  
[090-8014-3310]連絡下さい。

## 年間作業予定日

11/10(木)、11/29(火:定例)、

12/13(火)、12/22(木) 応援隊意見交換会(日程変更)\*

1/12(木)、1/31(火:定例)、

2/14(火)、2/28(火:定例)、3/14(火)、3/28(火:定例)、

3/未定: 応援隊総会的意見交換会

\* 意見交換会実施日は、現地作業は行いません。

### 新型コロナ発生時の対応策

①毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成し、代表が保管する。

②次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)

イ. 症状があり、医師から検査を指示された場合。

ロ. 検査を受けた時。

ハ. 検査結果と医師・保健所の指示

③陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

### 新型コロナの予防措置として、 以下を基本とします。

・ 間隔をとっての行動。  
(体操・作業)

・ マスク着用:ただし、息苦しくなったら、他から距離をとって外し、深呼吸。

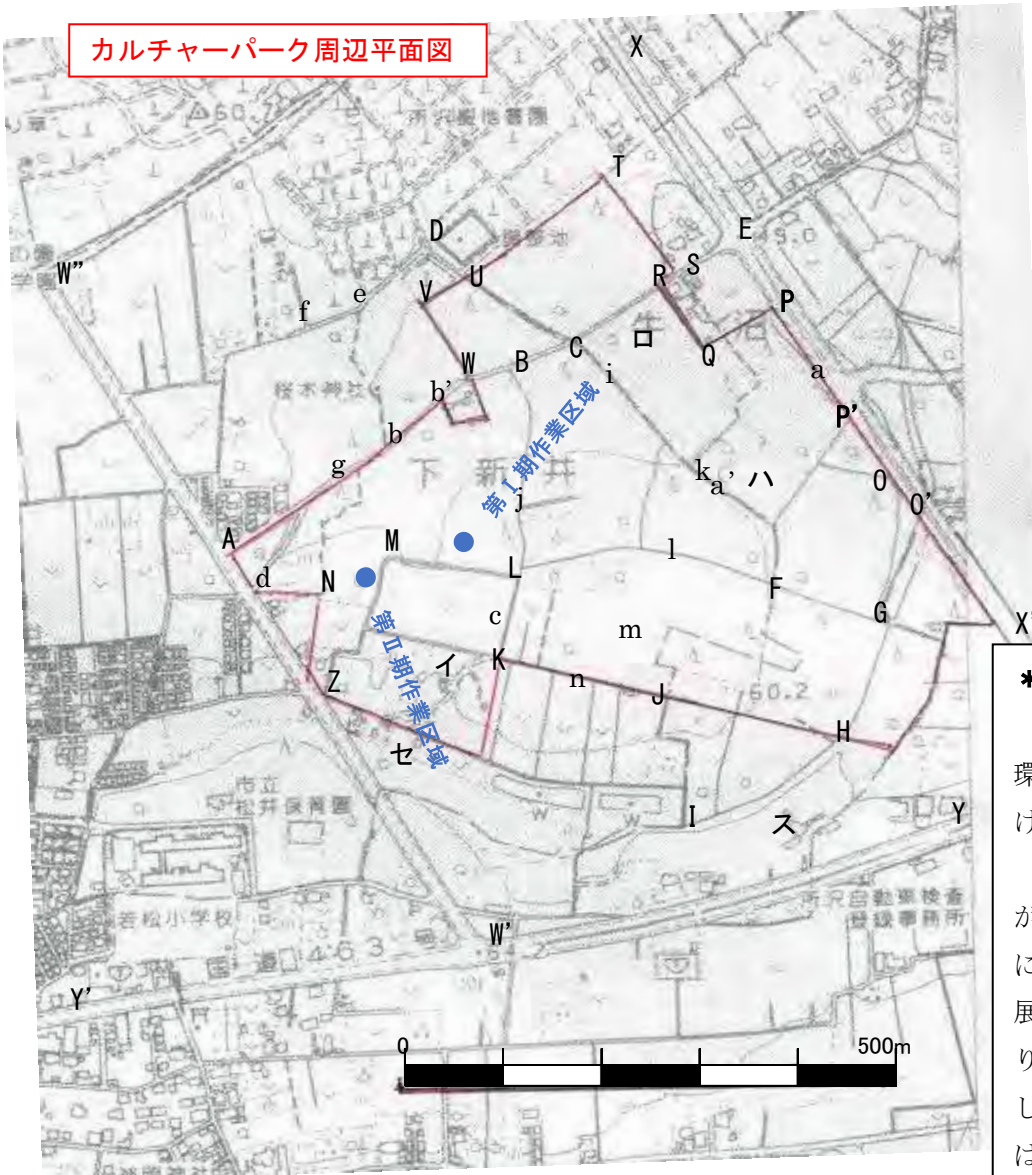
**夏場は、無理な着用をしない。**

・ 作業間隔の短縮・水分補給。  
・ 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。

なお、石鹼・消毒用アルコールは準備しています。

・ 当面定例作業日の食事会の休止。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

|                          |           |                  |
|--------------------------|-----------|------------------|
| 地点名                      | イ         | 現在のデイキャンプ場       |
|                          | ロ         | 湿地               |
|                          | ハ         | 現在のサッカー場         |
|                          | セ         | 特養、グループホーム       |
|                          | ス         | 産廃               |
|                          | E         | 交差点「開発」          |
|                          | W'        | 交差点「牛沼」          |
| 通り名                      | X-E-X'    | 県道東京狭山線          |
|                          | W'' -A-W' | 市道 カルチャーパーク通り    |
|                          | Y-W' -Y'  | 国道               |
| 園内通り名<br>(仮称の<br>たたき台です) | A-B-C-E   | 桜木神社通り           |
|                          | D-C       | 霊園通り             |
|                          | C-F       | サッカー場通り          |
|                          | B-L-K     | 中央通り             |
|                          | L-F-G     | 東西通り(L-F:フラワー通り) |
|                          | G-H       | 東通り              |
|                          | K-J-I     | 農道               |
|                          | I-H       | 産廃裏通り            |

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。  
皆さんからの御意見をお寄せください。

### \*この「応援隊」は

所沢市民大学 18期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

### 定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広げています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

**追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。**

### \*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。